

主要3項目すべてが大幅に悪化

新型コロナウイルス感染症拡大が大きく影響

<調査機関> 北九州商工会議所

<調査期間> 令和2年5月25日~6月5日

〔参考〕調査開始日(5/25)の株式及び外国為替市況

日経平均株価終値 20,741 円 65 銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値 107 円 69 銭

<回答数> 486 社(製造業 100 社・非製造業 386 社)

<調査方法> 郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式



本件に関するお問い合わせは、

北九州商工会議所 産業振興課 (TEL:541-0185)

< 概 況 >

◆【主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)】

主要3項目すべてが大幅に悪化。

「売上高」「経常利益」は昭和50年の調査開始以来、過去最低の水準。

◆【業種別】

すべての業種で主要3項目が大幅に悪化。

運輸業(売上高)、サービス業(経常利益)は50ポイント以上悪化。

◆【規模別】

すべての規模で主要3項目が大幅に悪化。

小規模企業は「売上高」「経常利益」が40ポイント以上悪化。

※DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。

(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。

※文章中の規模は中小企業基本法に基づく

(大規模→大企業、中規模→中小企業、小規模→小規模企業者)

主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向

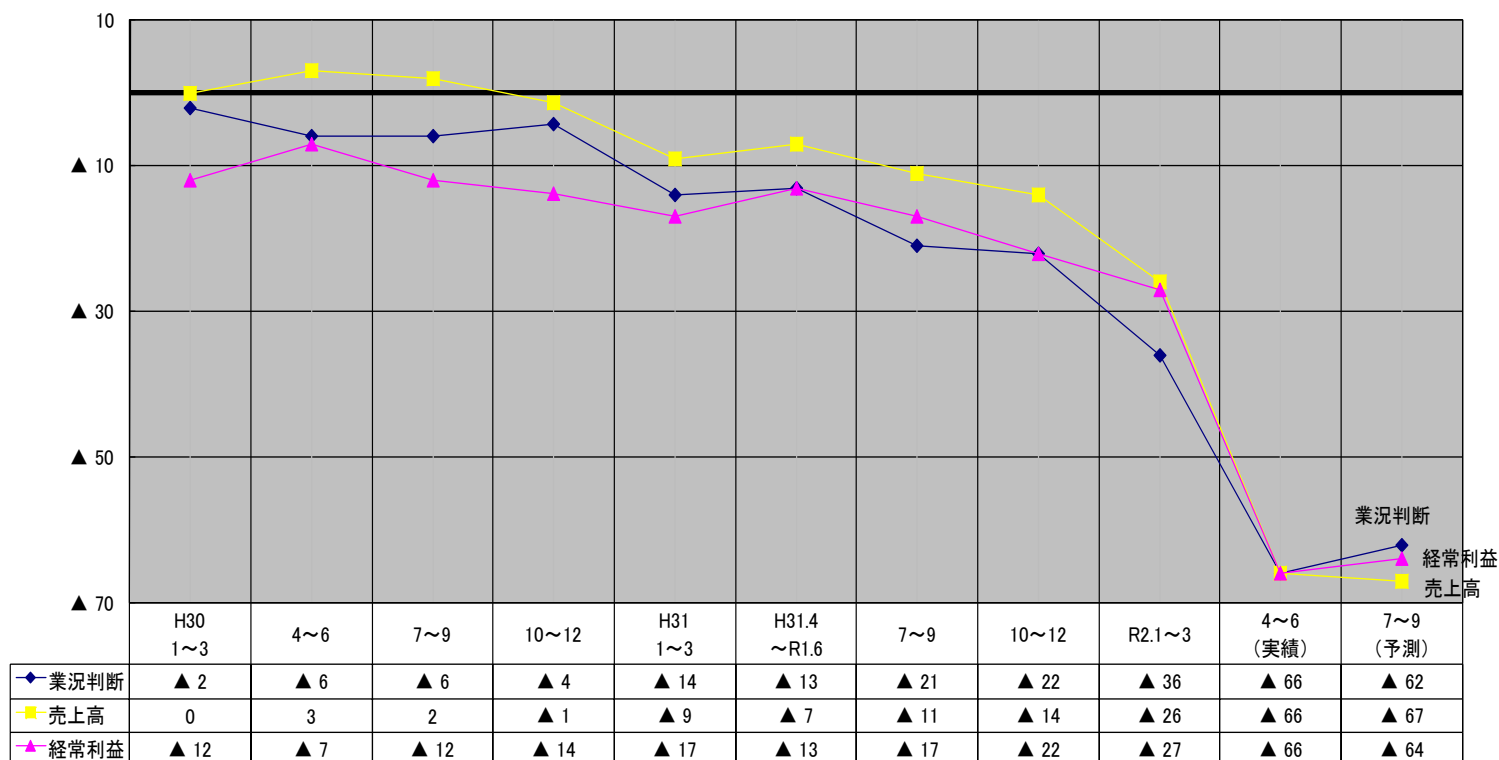
<今期実績> (4-6月期)

- ・主要3項目すべてが大幅に悪化。
- ・「売上高」「経常利益」は昭和50年の調査開始以来、過去最低の水準。

<次期予測> (7-9月期)

- ・次期も大幅なマイナス水準を予測。

(今期) (次期)



	3月調査時の 4~6月期予測	4~6月期実績
業況判断	▲ 35	▲ 66
売上高	▲ 30	▲ 66
経常利益	▲ 32	▲ 66

— 業 種 別 —

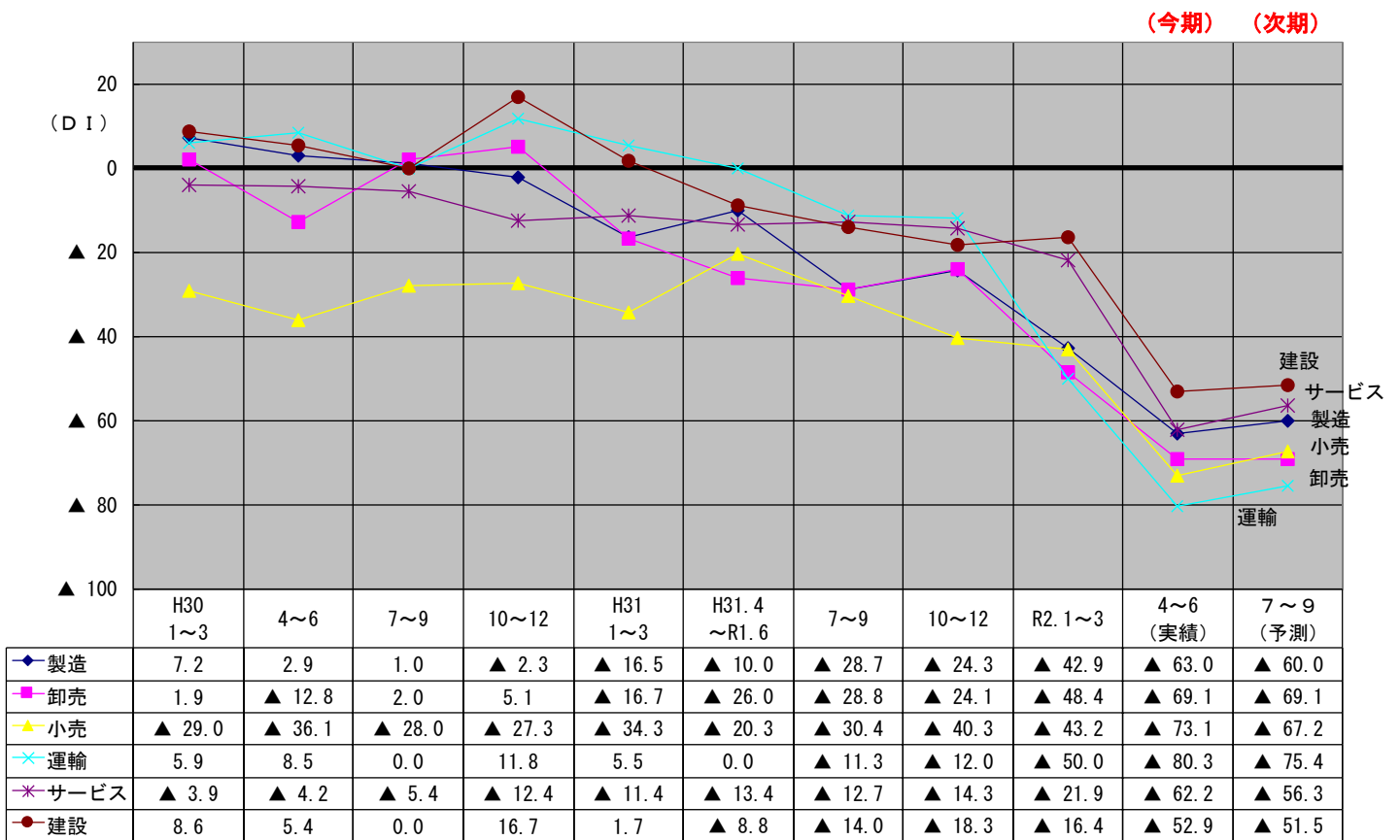
業況判断DI

<今期実績> (4-6 月期)

・すべての業種が大幅に悪化。サービス業は 40 ポイント以上悪化。

<次期予測> (7-9 月期)

・卸売業を除くすべての業種で改善を予測するも、大幅なマイナス水準。



	3 月調査時の 4~6 月期予測	4~6 月期実績
製造	▲ 36.2	▲ 63.0
卸売	▲ 59.7	▲ 69.1
小売	▲ 43.2	▲ 73.1
運輸	▲ 38.7	▲ 80.3
サービス	▲ 23.4	▲ 62.2
建設	▲ 19.7	▲ 52.9

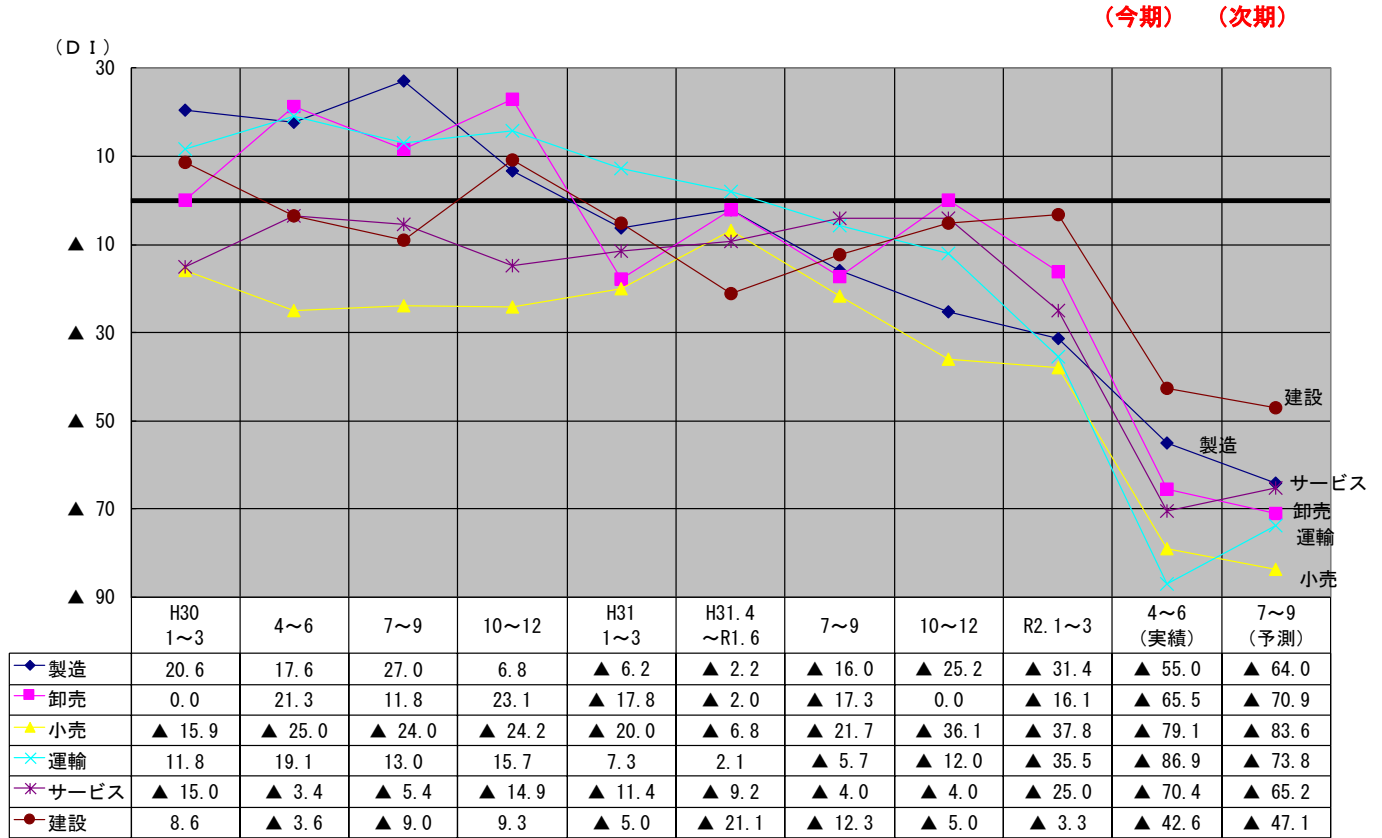
売上高DI

<今期実績> (4-6 月期)

・すべての業種が大幅に悪化。運輸業は 50 ポイント以上悪化。

<次期予測> (7-9 月期)

・運輸業、サービス業は若干の改善を予測するも、すべての業種が大幅なマイナス水準。



	3 月調査時の 4~6 月期予測	4~6 月期実績
製造	▲ 31.4	▲ 55.0
卸売	▲ 33.9	▲ 65.5
小売	▲ 32.4	▲ 79.1
運輸	▲ 32.3	▲ 86.9
サービス	▲ 25.5	▲ 70.4
建設	▲ 3.3	▲ 42.6

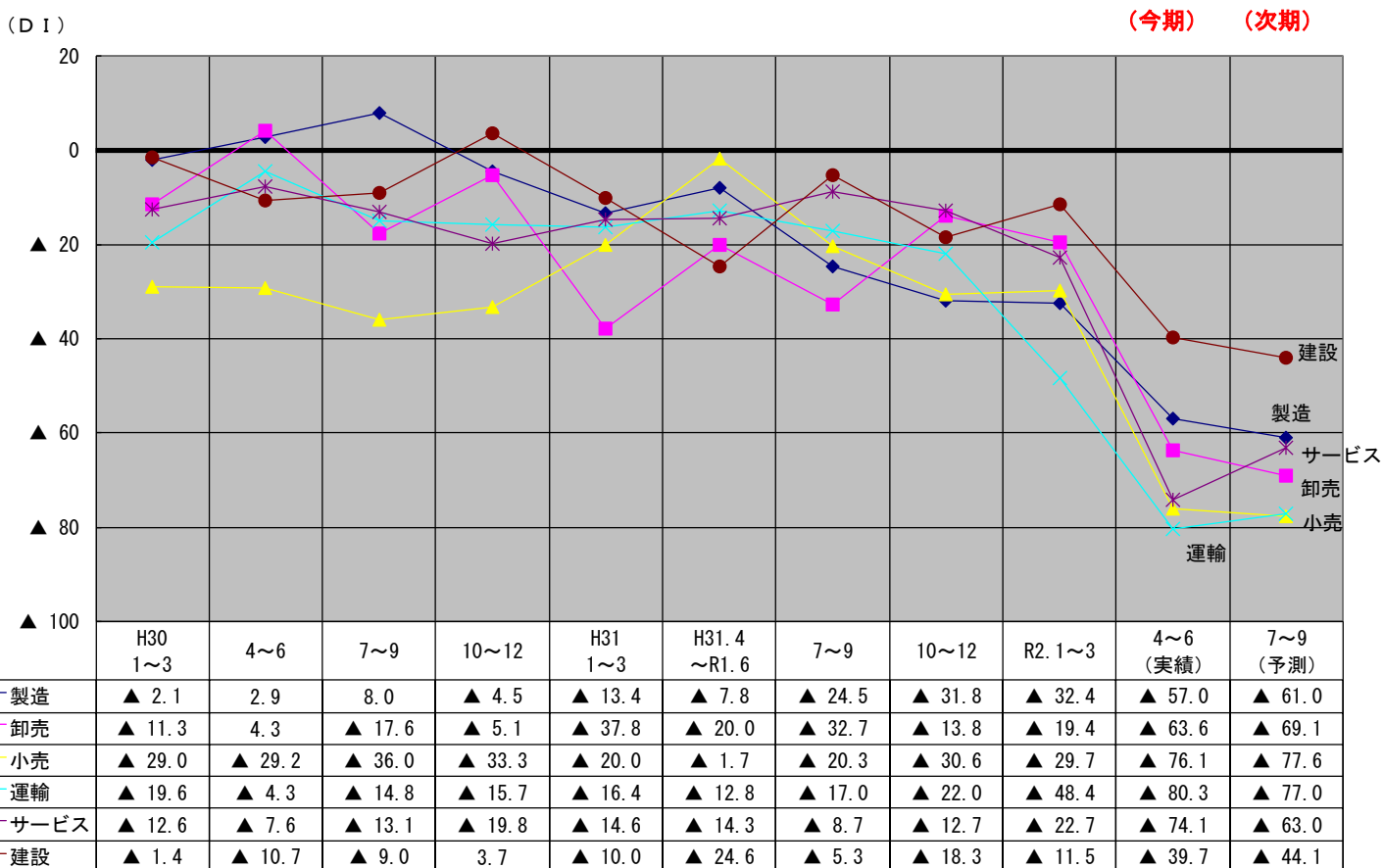
経常利益DI

<今期実績> (4-6 月期)

・すべての業種が大幅に悪化。サービス業は 50 ポイント以上悪化。

<次期予測> (7-9 月期)

・運輸業、サービス業以外はさらに悪化を予測。



	3月調査時の 4~6 月期予測	4~6 月期実績
製造	▲ 34.3	▲ 57.0
卸売	▲ 40.3	▲ 63.6
小売	▲ 25.7	▲ 76.1
運輸	▲ 41.9	▲ 80.3
サービス	▲ 28.1	▲ 74.1
建設	▲ 24.6	▲ 39.7

— 規 模 別 —

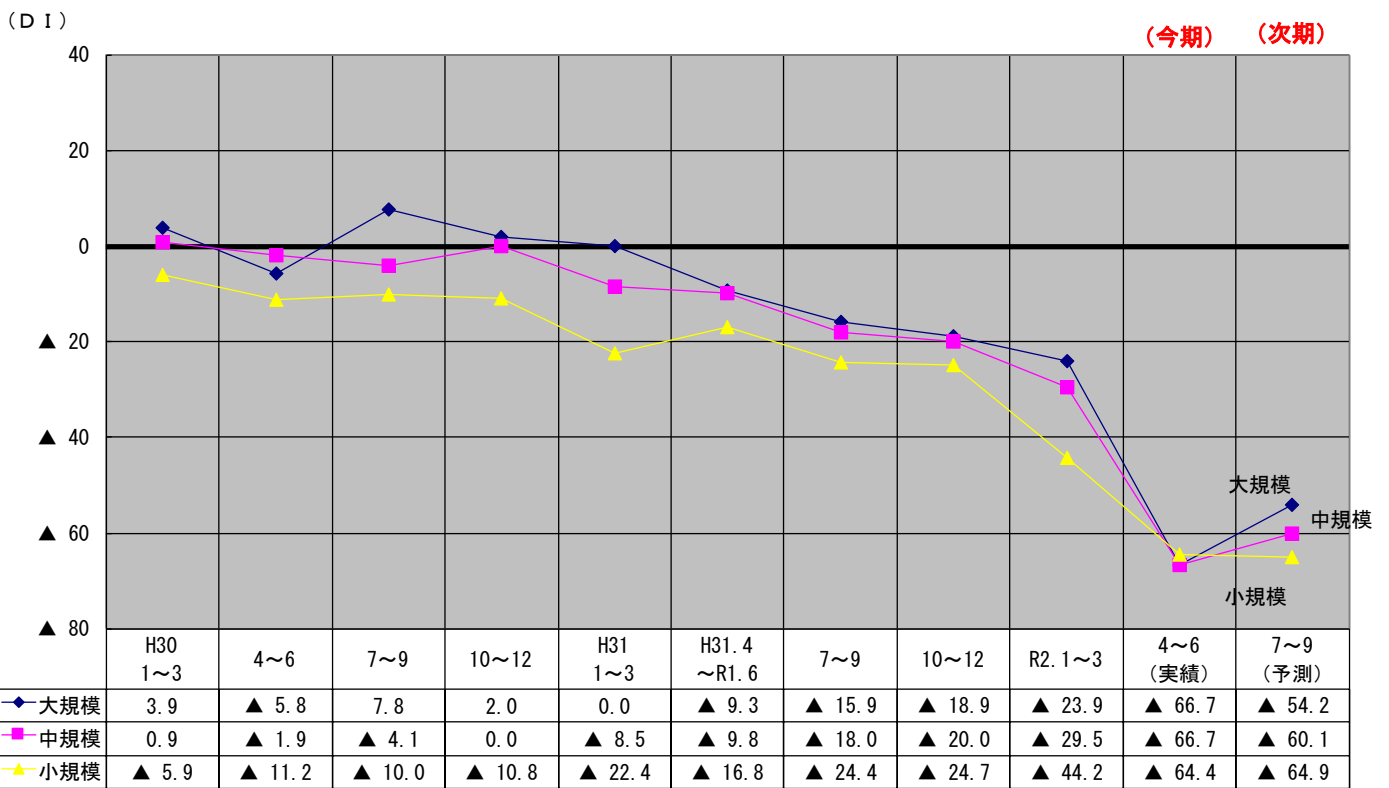
業況判断DI

<今期実績> (1-3 月期)

・すべての規模で大幅に悪化。大規模企業は 40 ポイント以上悪化。

<次期予測> (4-6 月期)

・大規模企業、中規模企業は改善を予測するも、すべての規模で大幅なマイナス水準。



	3月調査時の 4~6月期予測	4~6月期実績
大規模	▲17.4	▲66.7
中規模	▲33.6	▲66.7
小規模	▲40.3	▲64.4

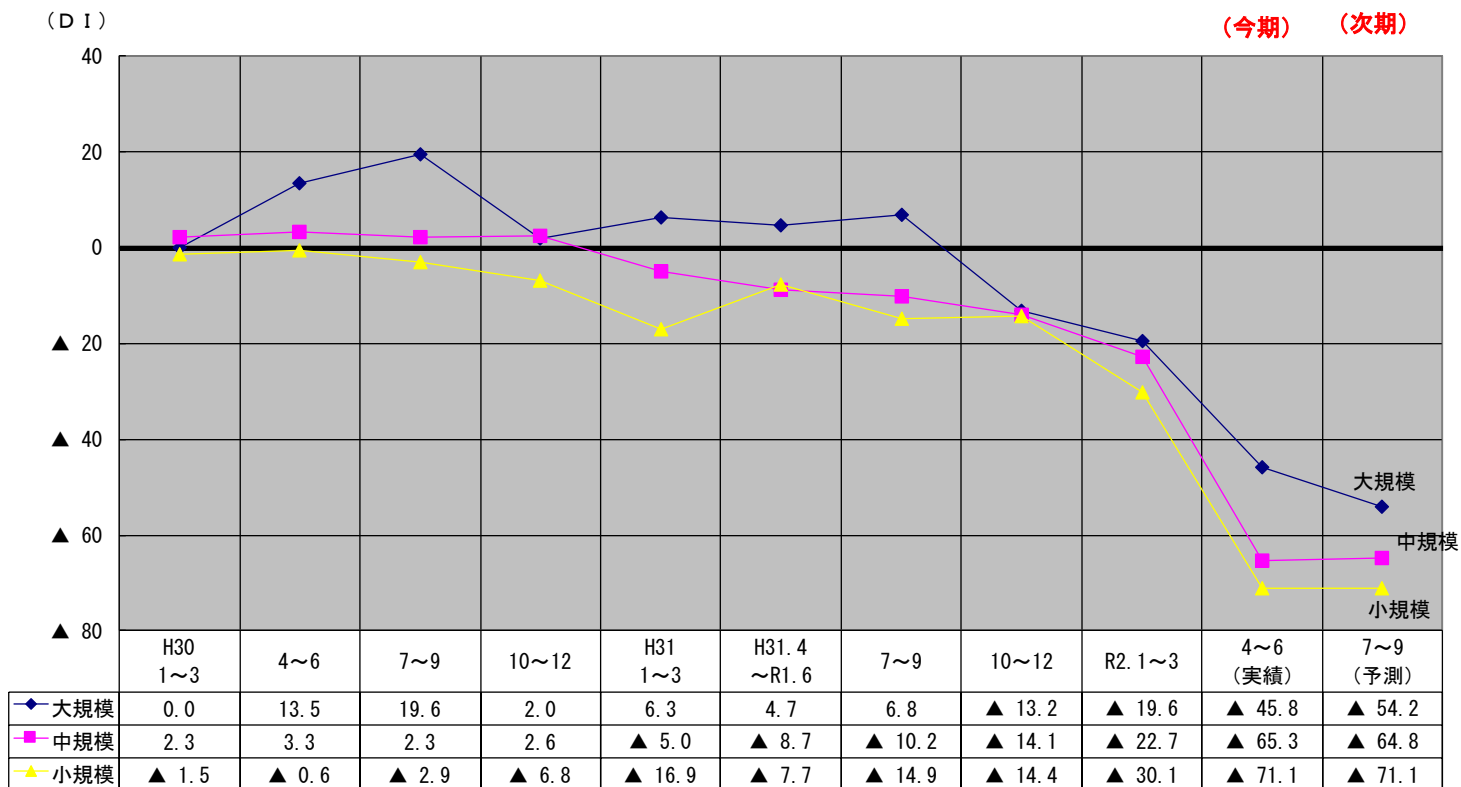
売上高DI

<今期実績> (1-3 月期)

・すべての規模で大幅に悪化。中規模企業、小規模企業は 40 ポイント以上悪化。

<次期予測> (4-6 月期)

・大規模企業はさらに悪化を予測。



	3 月調査時の 4~6 月期予測	4~6 月期実績
大規模	▲ 13.0	▲ 45.8
中規模	▲ 30.5	▲ 65.3
小規模	▲ 32.3	▲ 71.1

経常利益DI

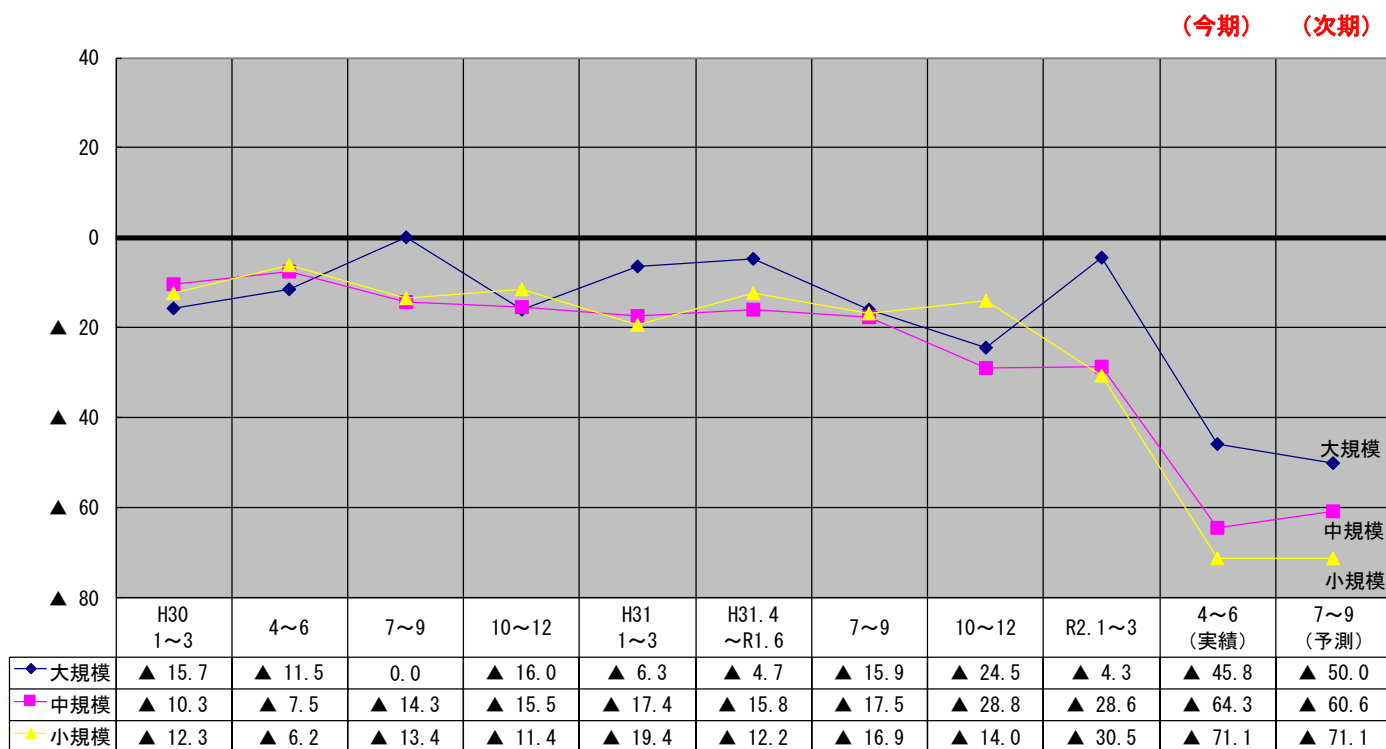
<今期実績> (1-3 月期)

・すべての規模で大幅に悪化。

<次期予測> (4-6 月期)

・大規模企業はさらに悪化、中規模企業は若干の改善、小規模企業は横ばいを予測。

(DI)



	3月調査時の 4~6 月期予測	4~6 月期実績
大規模	▲13.0	▲45.8
中規模	▲30.5	▲64.3
小規模	▲32.	▲71.1

その他項目 DI の動向

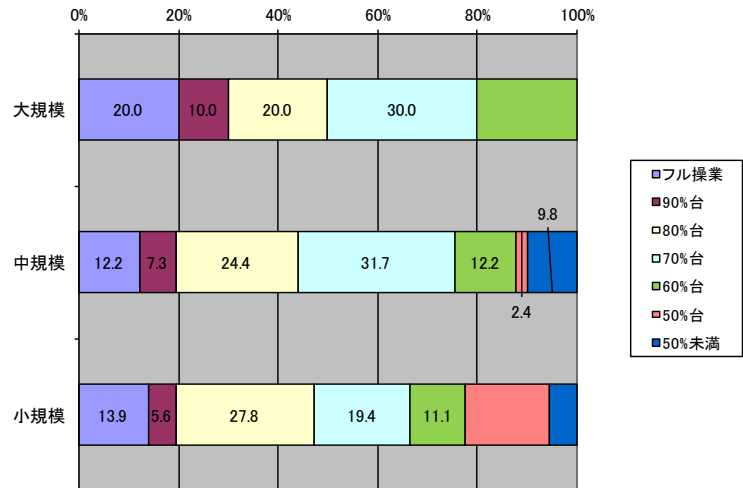
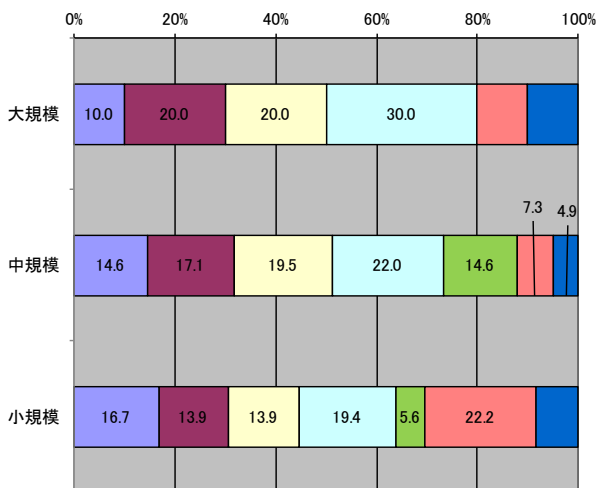
	H30年		H31年	H31年4 R1年5~6	R1年		R2年		
	7~9	10~12	1~3		7~9	10~12	1~3	4~6 (実績)	7~9 (予測)
①販売価格・ 受注単価 (「上昇」-「下降」)	10.3	4.6	4.3	3.3	2.9	0.6	▲5.9	▲21.9	▲25.1
②資金繰り (「楽」-「苦しい」)	7.3	6.2	7.0	9.0	7.1	6.9	4.4	▲13.9	▲18.4
③借入難易度 (「容易」-「困難」)	24.2	22.2	23.8	24.0	23.2	22.1	21.8	20.9	17.8
④設備投資 (「増加」-「減少」)	6.1	2.1	▲2.2	▲1.1	1.6	▲5.3	▲6.5	▲27.1	▲30.2
⑤雇用 (「過剰」-「不足」)	▲47.4	▲48.2	▲50.9	▲46.3	▲44.1	▲45.9	▲42.2	▲15.9	▲17.2
⑥在庫 (「過剰」-「不足」)	5.3	9.5	4.8	7.4	8.8	7.7	5.8	4.2	1.6
⑦所定外労働時間 (「増加」-「減少」)	▲0.5	2.8	▲4.3	▲9.8	▲14.3	▲10.2	▲13.7	▲43.2	▲39.1

- ① 「販売価格・受注単価」……前期から大幅に下降。次期も引き続き下降と予測
- ② 「資金繰り」……前期から大幅に下降しマイナス水準へ。次期はさらに苦しくなる見込み。
- ③ 「借入難易度」……今期は大きな変化はないが、次期は若干困難になると予測。
- ④ 「設備投資」……前期から大幅減少。次期も減少を予想。
- ⑤ 「雇用」……人手不足感は解消傾向だが依然としてマイナス水準。
- ⑥ 「在庫」(製造業・卸売業・小売業のみ回答)……前期より減少。次期も減少を予測
- ⑦ 「所定外労働時間」……6期連続マイナス水準。今期は特に減少。次期もマイナス水準予測

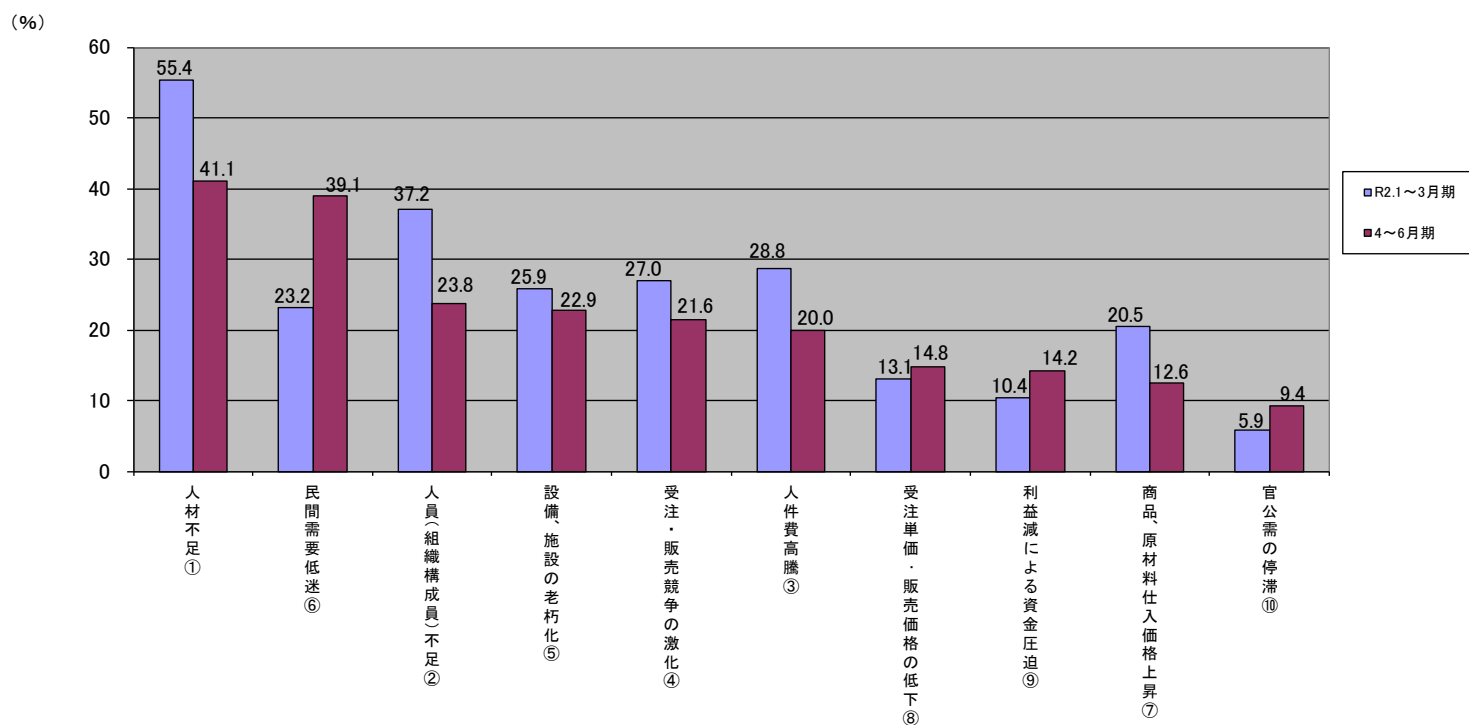
製造業操業度

4~6月
(実績)

7~9月
(予測)



経営上の問題点上位10項目（複数回答）



※項目の後の数字は前回調査結果の順位

企業の声

- 在宅勤務や外出自粛などによりゲーム機、タブレット、無線 LAN などの需要が高まり電子部品の売上増。【製造業（機械金属）・大規模】
- 緊急事態宣言による経済活動の自粛が直接影響する状況となり、取引先の減産、設備投資の削減等で今後の先行きが不透明。【製造業（産業用機械）・小規模】
- 鉄鋼不況に加え、新型コロナウイルス感染拡大による自動車不況が重なり経営に大打撃となっている。【製造業（その他製造業）・中規模】
- 新型コロナウイルス感染防止対策のため営業不可やイベント等の中止による大幅な受注減。【製造業（印刷）・中規模】
- 製鉄や自動車関連の需要減少が売上に大きく影響している。新規採用も見送った。
【卸売業（金属製品・機械機具）・中規模】
- 新型コロナウイルス対策により販売店への営業自粛や学校の休校、小売店の営業自粛などにより売上が減少。一方、マスクや消毒液など新型コロナ対策の商品の売上が伸びた。
【卸売業（文具・事務用品）・中規模】
- 3月の売上は比較的に安定していたが、4月に入って販売が急に低迷した。
【小売業（その他小売業）・小規模】
- 緊急事態宣言により商店街の人出が激減し売上も減少。【小売業（飲食料品）・小規模】
- 食品は前年同期以上の売上で特に加工食品は在庫不足となるくらいだが、衣料品は苦戦。
【小売業（デパート・スーパー）・大規模】
- 4月以降新型コロナウイルス感染拡大の影響で、世界規模で生産停止・出荷停止となり物流にも多大な影響が出ている。【運輸業（貨物運送）・中規模】
- 個人向けの宅配は伸びているが、企業向け宅配や航空輸送は新型コロナの影響を少なからず受けている。【運輸業（貨物運送）・中規模】
- 自粛要請等により飲食店が閉店し、夜間のタクシー利用者が減少。
【運輸業（旅客運送）・中規模】
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い店舗は長期間休業。ネット販売は大きく伸びたが客単価が低いため全体の売上は大幅に減少した。【サービス業（飲食業）・中規模】
- 新型コロナウイルスの影響によるテナント退去や家賃減額により売上が減少。
【サービス業（その他のサービス業）・小規模】
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は5月の時点ではそれほど出ていないが、今後、行政の予算が新型コロナ対策に回される可能性が高いため、官公需の減少が懸念される。
【建設業（その他建設業）・小規模】
- 新型コロナウイルスの影響により取引先の部品・機材の納入遅れや不足が出てきている。
【建設業（総合建設）・中規模】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響調査結果

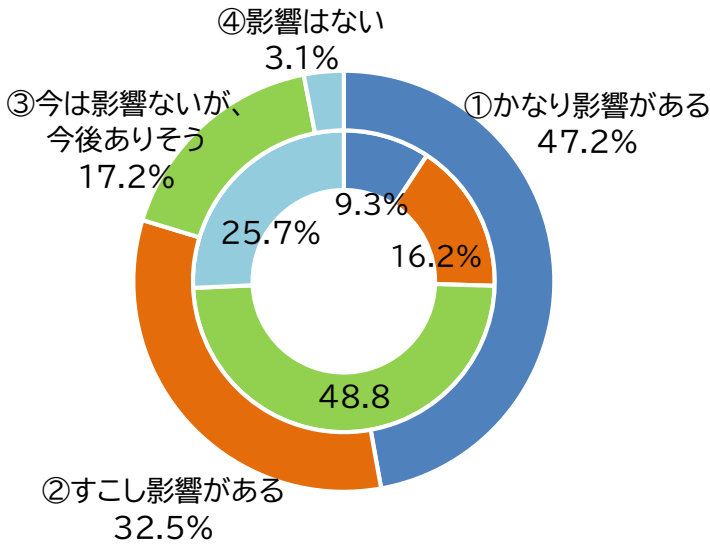
令和2年6月12日
産業振興部

■回答数 458社(前回2月調査時 463社)
■調査期間 令和2年5月25日(月)～6月5日(金)

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大による経営への影響

※円グラフの外側が今回(5月)、内側が前回(2月)調査時

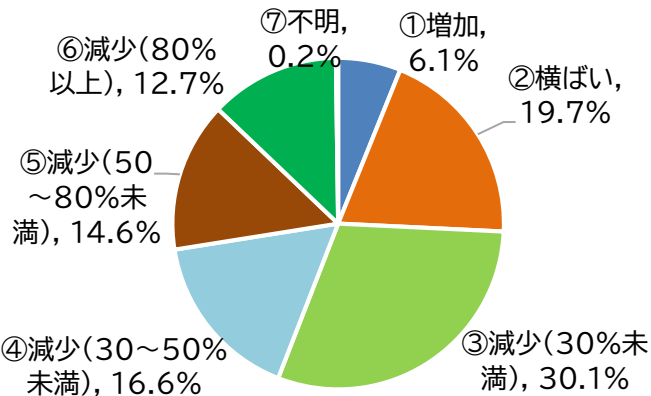
※下段は前回(2月)調査時



回答	回答数	割合
①かなり影響がある	216 (43)	47.2% 9.3%
②すこし影響がある	149 (75)	32.5% 16.2%
③今は影響ないが、今後ありそう	79 (226)	17.2% 48.8%
④影響はない	14 (119)	3.1% 25.7%
計	458 (463)	

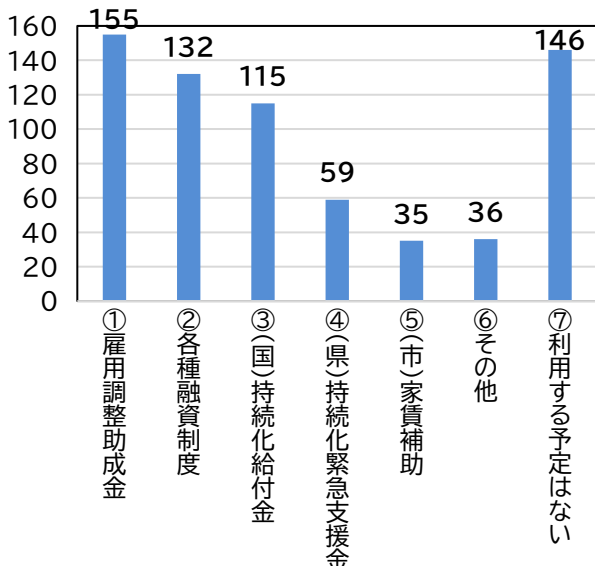
『影響がある、今後ありそう』
74.3% → **96.9%**
前回(2月調査時)

(2) 直近(4月もしくは5月)の対前年同月比の売上高



回答	回答数	割合
①増加	28	6.1%
②横ばい	90	19.7%
③減少(30%未満)	138	30.1%
④減少(30～50%未満)	76	16.6%
⑤減少(50～80%未満)	67	14.6%
⑥減少(80%以上)	58	12.7%
⑦不明	1	0.2%

(3) 国・県・市の経済支援策の中で利用した、もしくは利用予定の施策(複数回答)



<参考> 回答企業の内訳

区分	回答数	
業種別	製造	94
	卸売	52
	小売	61
	運輸	60
	サービス	126
	建設	65
規模別(従業員数)	大規模(300人以上)	42
	中規模(100～299人)	206
	小規模(99人以下)	210
合計	458	